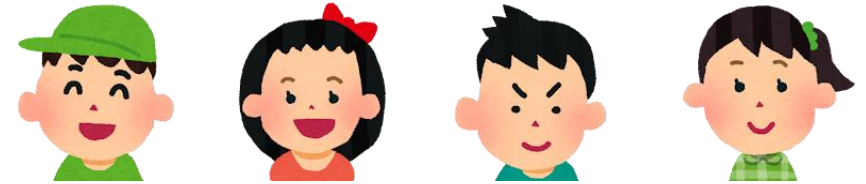


親子で防災体験！アンケート まとめ



イベント実施：2022年7月18日

アンケートまとめ：2022年9月30日

ねりま笑店街実行委員会ねりまキッズボランティア

目次

1. イベントの概要
2. 参加者アンケート
3. ボランティアアンケート
4. アンケートのまとめ

※写真は活動の一部です



親子で

防災体験!!

防災ポーチづくり
防災紙芝居
初期消火訓練
公衆電話体験
ミニ防災井戸体験
*班ごと回るラリー方式です

商店街や街をめぐりながら
防災体験しよう!
ねりキッズが運営するよ!

ねりまキッズボランティアとは?

「こども達がやりたいことを実現する!」をモットーに、地域の祭りやイベント出店、遊び、地域ボランティアなどさまざまな活動を実施しています。

日時 **7月18日(祝) 13時~15時半**

場所 **大鳥神社とその周辺** 集合12時45分
(大鳥神社:豊玉北5-18-4、練馬駅南口商店街エリア)
小雨決行、荒天24日に延期

参加費
¥500/1組
(保険料含む)
こども1人につき

定員
先着20組

対象
小学生と
保護者

・保護者の付き添いが必要です。・詳細はメールにてお知らせします。

主催 **ねりま笑店街実行委員会**
ねりまキッズボランティア

申込 QRコードから
申込ください



問合せ 江口 mail: nerimanowa@jcom.zaq.ne.jp

団体HP <https://nerima-syotengai.jimdofree.com/>

協力 練馬駅南口六商店会連合会、武蔵大学A't、ガールスカウト172団、練馬消防署
練馬図書館、大鳥神社、豊玉第3町会、ユニバースショップ、メゾンオレンジ

*この事業は、令和4年度練馬区やさしいまちづくり支援事業助成事業です。

2022年8月現在、5歳から中学生までの25人が所属、武蔵大学学生ボランティアや商店会、地域団体の協力のもと、こども達が主体的に活動しています。

今年のテーマは「多様なこども達が共に輝く居場所を作る」。今回のイベントも多様なお子さんの参加を念頭に企画しました。

1. 親子で防災体験イベントの概要

■ イベント

- ・ 実施日：2022年7月18日（月・祝日）
 - ・ 場所：練馬大鳥神社とその周辺の町内会
 - ・ イベント参加者人数：13人（7世帯）
 - ・ イベントスタッフ人数：31人*
 - * 消防署10人位、町会事務所で動いて下さった町会役員の方含まず
- ※アンケート集計日：8月1日 形式：Googleに入力

■ イベント背景

コロナ禍の折、密にならずに実施できるように、予約制、ラリー方式（少人数の班で屋外、町内の体験ブースをまわる）形式での実施を計画しました。

開催日は、大鳥神社の石薬師市の日にし、商店会様のご協力を頂くことになりました。

実際には、コロナ禍第7波と猛暑予報が重なりました。そのため積極的な広報を控えて、コロナ禍で特に活動の幅が狭まっていると聞いた、特別支援学級生や不登校児への案内を優先し※、チラシ配布箇所は、近隣に絞りました。

以上の事情から、当初想定していた参加者5班を3班に縮小して開催しました。

※特別支援学級生1名参加、他に社会的支援が必要な児童の参加もあり

2. 参加者アンケート 質問内容

- 参加者数、13人、うち回答数・・・6人

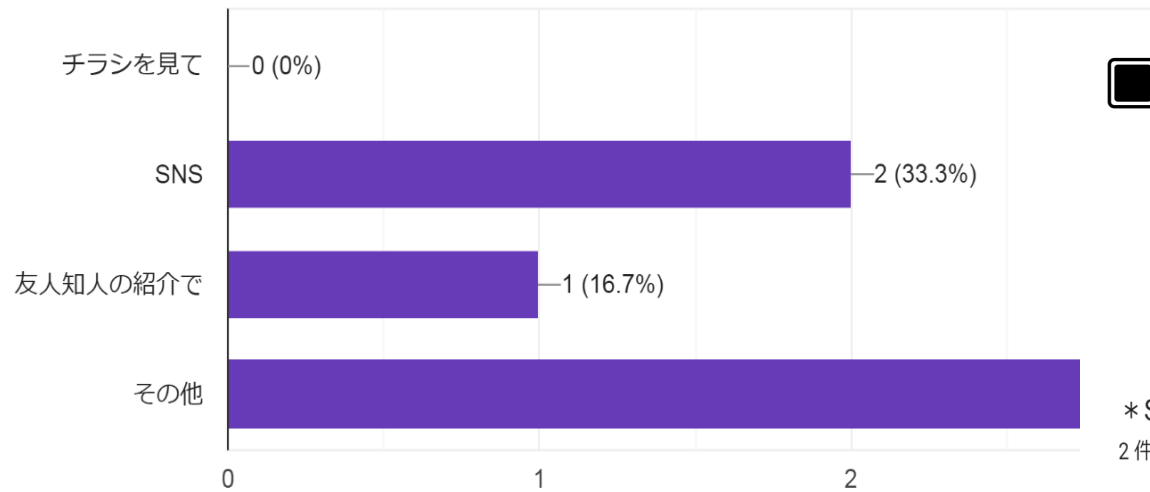
質問

1. イベントを知った方法 選択式
2. SNSと回答した人はどのSNSか？ 選択式
3. 楽しかった体験 イベントブース名から選択複数回答あり
4. 感想や印象に残ったこと（大人）記述
5. 感想や印象に残ったこと（子ども）記述
6. また参加したいですか？（はい、いいえ 選択式）
7. 参加費（500円）はどうか？
（無料希望、安い、妥当、高い、から選択）
8. 防災ポーチ体験での疑似通貨についての意見 （選択式）その選択は記述

2. 参加者アンケート質問 1、2

今回の防災体験を何で知りましたか？

6件の回答

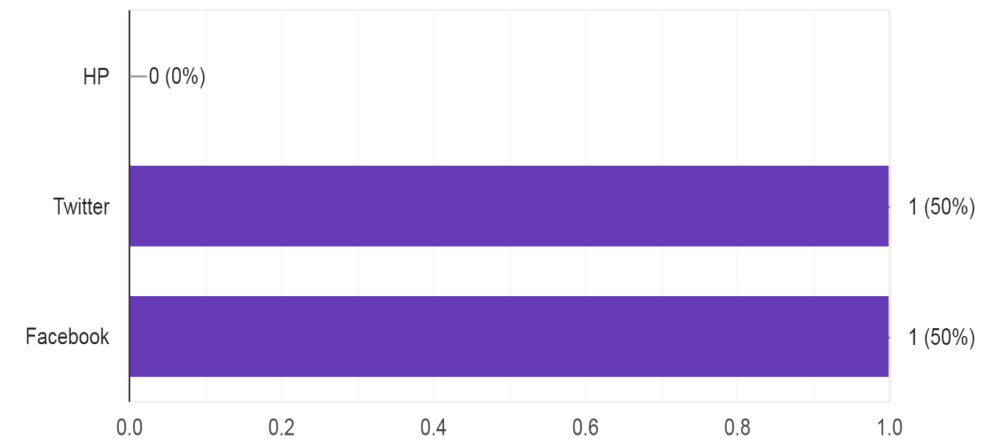


■ 考察

回答者には、チラシを見たと回答した人はいませんでした。

* SNSと答えた方→何をみましたか？

2件の回答



Twitterを
みました



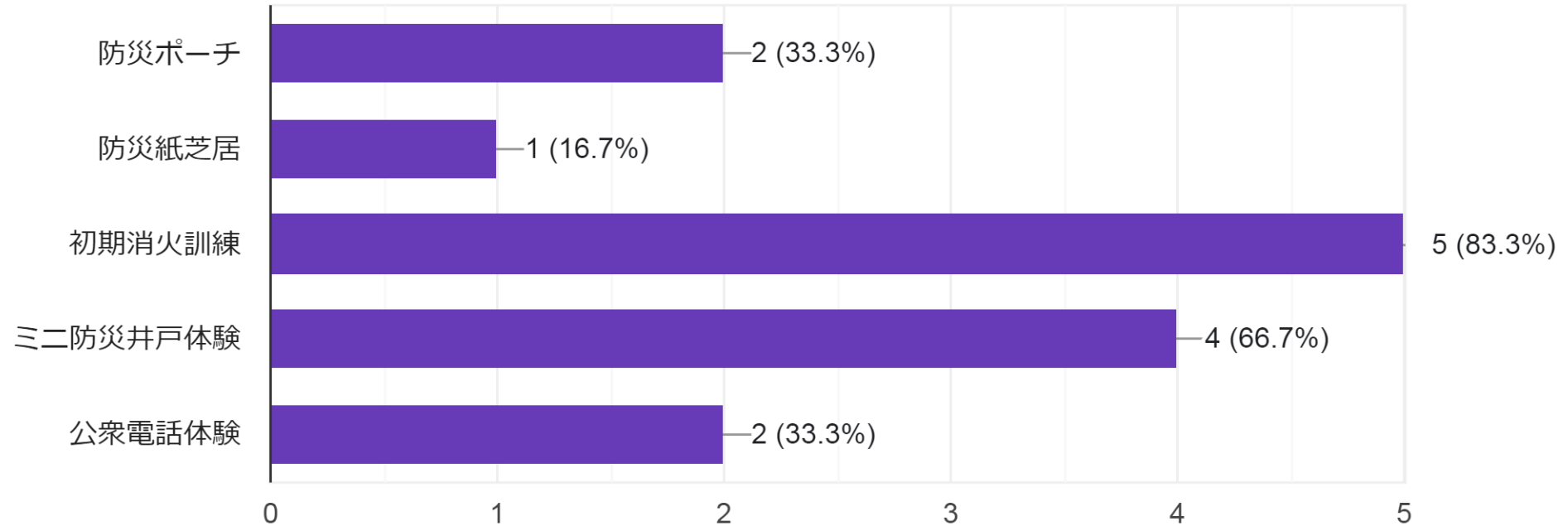
Facebookを
みました



2. 参加者アンケート質問3 ※一部コメントを抜粋しました。

今回の防災体験で楽しかったのは何ですか？

6件の回答



初対面のお兄さんに名前を呼んでもらえて驚いたけど、嬉しかった



消火訓練が特に楽しかった。消火器をあまり使ったことがなかったので使えてよかった



放水の体験が面白かった。井戸の水が冷たくて気持ちよかった。



公衆電話体験が楽しかった。



2. 参加者アンケート質問4

感想や印象に残ったこと（大人）

回答例（複数回答あり）

- ・ 防災体験に関するコメント・・・（3件）
 - ・ 消防署での初期消火訓練が、ホースを使っでの放水までやらせてもらえて大変貴重な体験になりました。
 - ・ 公衆電話が携帯に繋がらないことに初めて気づきました。緊急でない時に知れて良かったです。
- ・ 交流・運営に関するコメント・・・（3件）
 - ・ 学生スタッフの方が子どもたちをまとめてくださっている姿が素敵でした。
 - ・ ラリーの内容からしたら2時間よりもう少し短い時間でも回れるかなと思いました。

■ 考察

コメントは体験、交流・運営に関して同じ数がありました。

公衆電話がかかりづらいという意見があり、使用した公衆電話の発信機能の確認が必要だと考えられます。

2. 参加者アンケート質問5

感想や印象に残ったこと（子ども）

回答例（複数回答あり）

- ・ 防災体験に関するコメント・・・（5件）
 - ・ 放水の体験が面白かった。井戸の水が冷たくて気持ちよかった。
 - ・ 電話が繋がらなくて悲しかった。
- ・ 交流・運営に関するコメント・・・（2件）
 - ・ 初対面の（大学生の）お兄さんに名前を呼んでもらえて驚いたけど、嬉しかった。
 - ・ 大学生さんの説明がわかりやすく良かった

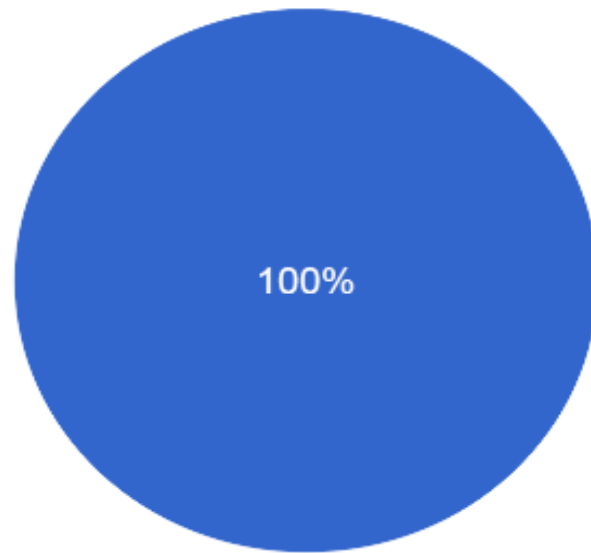
■考察

参加者は、防災体験が印象に残っている子どもが多いですが、スタッフ役の大学生との交流も楽しんでいたと考えられます。公衆電話の発信機能は確認が必要だと考えられます。

2. 参加者アンケート質問6

また参加したいですか？

6件の回答



● はい
● いいえ

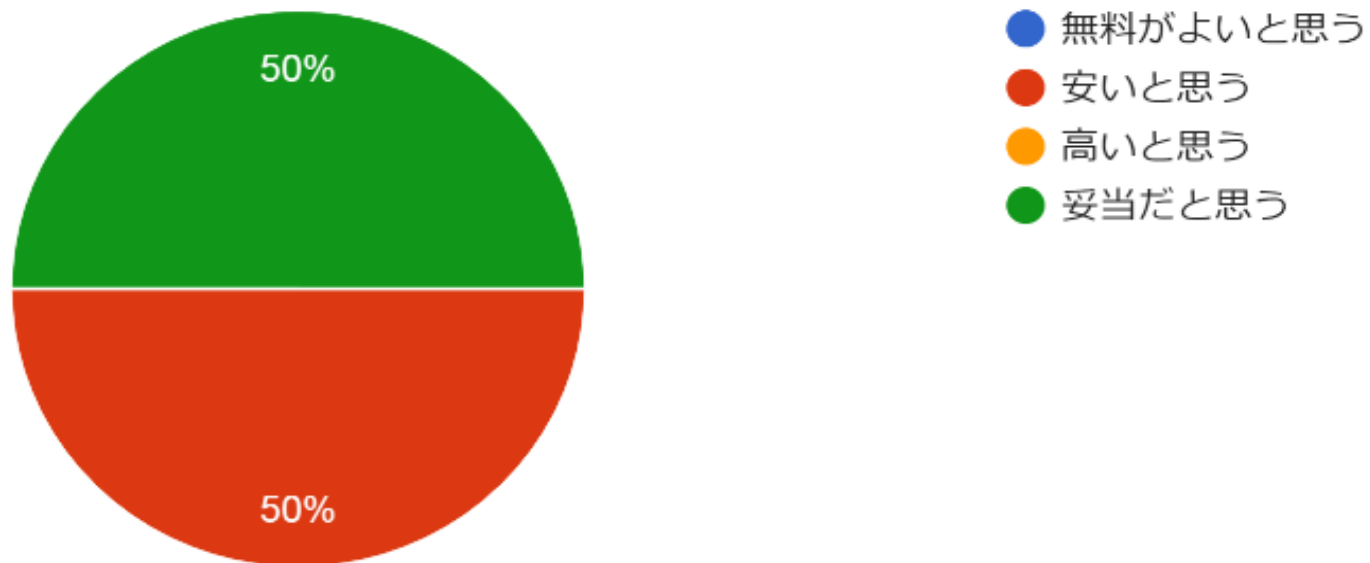
■ 考察

アンケート回答者は、イベントに対する満足度が高いことが考えられます。

2. 参加者アンケート質問7

参加費について

6件の回答



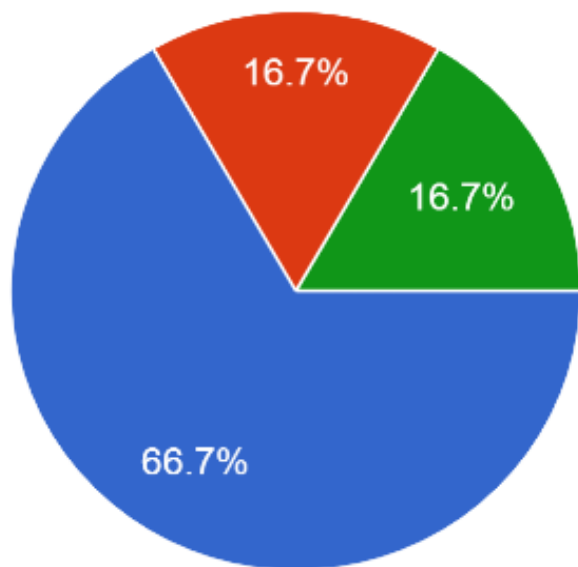
■ 考察

無料がよい、高いと思うという意見は1人からもありませんでした。安いと思うという意見もありました。少なくとも参加家庭の半分近くは、一定の料金負担は肯定的な家庭（保護者）が参加したことが考えられます。

2. 参加者アンケート質問8

【防災ポーチを体験された方】 疑似通貨のお買い物体験についてのご意見をお聞かせください。

6件の回答



- 疑似通貨のお買い物体験はよかった
- 現金でのお買い物体験の方がよい
- お買い物体験はなくてよい
- 疑似通貨の説明がなく、防災ポーチ作成
場面で「お金出して下さい」と言われ、
少し戸惑いました。

■ 考察

疑似通貨のお買い物体験に肯定的であることが考えられます。

疑似通貨でのお買い物体験が盛り込まれることは、ポスターなどでは広報しておらず、当日開会式で説明がありました。一部説明不足があったと考えられます。

2. 参加者アンケートまとめ

参加者アンケートまとめ

- イベントの広報活動は、チラシよりも口コミ、SNSが有効でした。
- 参加者子どもは防災体験に、大人は防災体験と地域交流を楽しんでいたと考えられます。ただし、公衆電話の発信機能は確認が必要となりました。
- 参加費は妥当または安いとする意見のみで、疑似通貨のお買い物体験も肯定的だったと考えられます。
- アンケート回答者は、全員が次回も参加したいと回答しており、参加者の満足と次回開催への期待があります。イベントは一定の成果を収めたと考えられます。

3. ボランティアアンケート

• ボランティアの所属は5種類

- ①ねりまキッズボランティア（運営団体）保護者
- ②武蔵大学ボランティアサークルA' t（運営団体補佐）
- ③社会福祉協議会ボランティアセンター※1経由一般ボランティア
- ④図書館※2、まちづくり公社のボランティア
- ⑤ガールスカウト中学生、ねりまキッズボランティア中学生

このうち①～④の人がアンケートに回答しました。

※1練馬区社会福祉協議会 練馬ボランティア・地域福祉センター

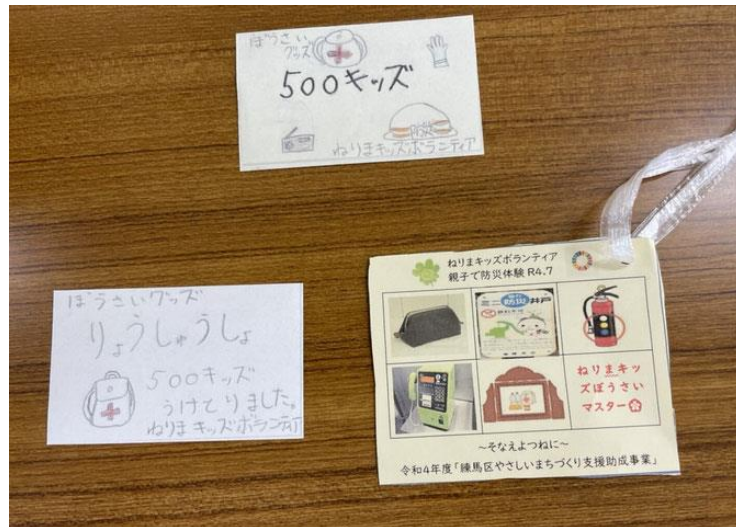
※2図書館は2名のうち1名が代表で回答しています。

	行政、団体	中学生	保護者	大学生	一般ボランティア※	小計
ブース運営	4	2	1	5	4	16
子ども参加者引率（班長・副班長）			2	4		6
本部			1			1
小計	4	2	4	9	4	23

3. ボランティアアンケート1

ボランティアスケジュール

- ・ねりまキッズボランティア
4月から疑似通貨作成、チラシや看板作りなど準備をした
- ・スタッフ、子どもスタッフ実踏 6月19日
- ・事前ミーティング（ボランティア全員）7月10日



3. ボランティアアンケート2

アンケートの項目・回収率

■アンケートの項目

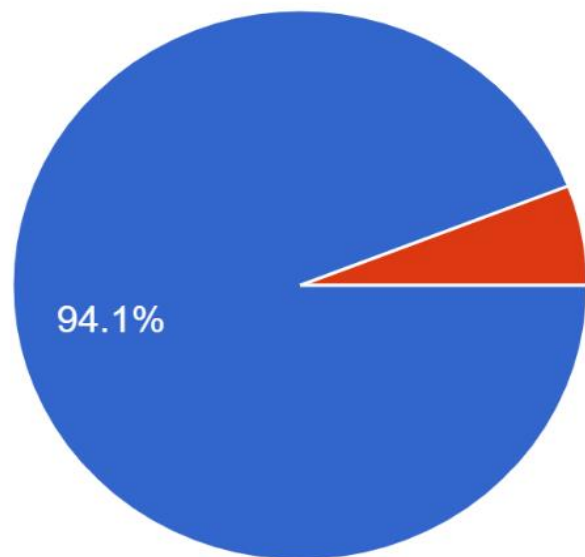
1. 当日の担当部門でよかった点、有、無（選択）
2. 当日の担当部門でよかったと選択した人記述
3. 当日の担当部門での改善点、有、無（選択）
4. 当日の担当部門での改善点 有、選択した人記述
5. イベント全体のよかった点、有、無（選択）
6. イベント全体のよかった点、有、選択した人記述
7. イベント全体の改善点、有、無（選択）
8. イベント全体の改善点有、選択した人記述
9. イベント全体の感想

■ボランティア参加人数に対するアンケート回収率 68%

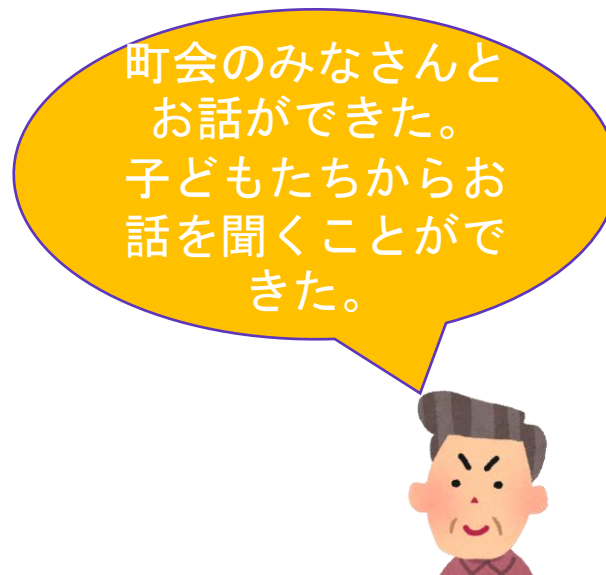
3. ボランティアアンケート3

2. 当日の担当部門でよかった点がありましたか？

17件の回答



- あった
- なかった



担当部門でよかった点まとめ

回答例

- 最も多かった意見・・・交流 7件

- ・ 町のみなさんとお話できた。
- ・ 子どもたちと仲良くなることができました。

ボランティア自身が参加者と交流したことがよかったとする意見

- 2番目多かった意見・・・子どもの様子 5件

- ・ 子供達が楽しく学ぶことができていた。
- ・ 子どもたちが真剣かつ楽しそうに参加していました。

- 3番目に多かった意見・・・防災体験 4件

- ・ 消火器の使い方を参加者だけでなくスタッフも学べたこと。
- ・ 自分も知らない防災のことについて知ることができました。（井戸とか初めて使いました！）

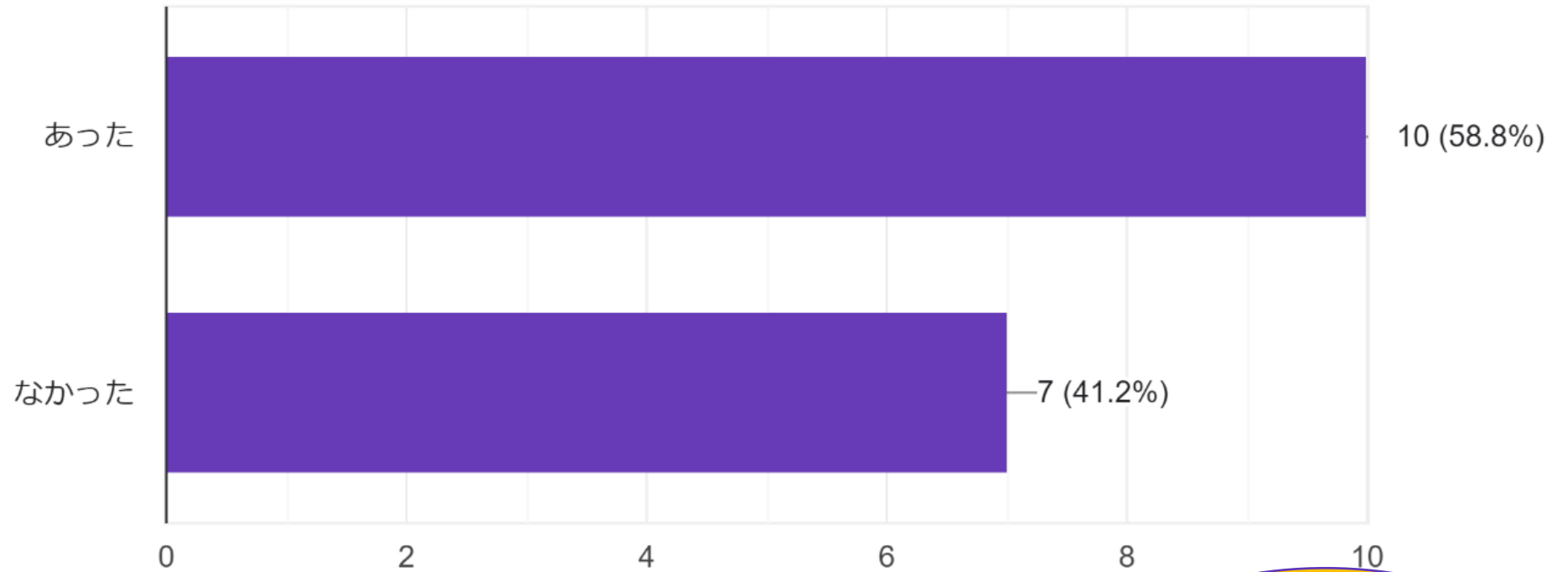
■ 考察

運営ボランティアは、イベントのテーマよりも、参加者との交流に充実感、満足感を得ている人が多いと考えられます。

3. ボランティアアンケート5

4. 当日担当部門で改善点がありましたか？

17件の回答



電話が繋がらな
かった子がいた。



2班と3班があまり
時間差なく休憩
ブースにきたので、
多少密になった。



3. ボランティアアンケート6

担当部門改善点まとめ

- 改善点は、それぞれの担当で意見が分かれました。（回答例）
- **事前準備で次回改善可能なもの**
 - ・ ラリーカードに貼るシールの役割分担を副班長からブース担当者にしたほうがよい
 - ・ 配布物と配布対象者をもっと把握すればスムーズだった
- **アクシデント**
 - ・ 予想外に子どもたちの休憩ブース到着時間が重なり、密になった（3件）
 - ・ お借りしたマンションの井戸付近に蜂がいて危なかった（2件）
 - ・ 公衆電話が通じなかった
- **問題提起**
 - ・ 公衆電話が子どもや車いすの方が使いにくい機能、位置であったので改善した方がよいのでは？

■考察

改善点がなかったとする意見も多く、また改善点の記載内容が、準備や運営に関する意見よりアクシデントに関する意見が多いことから、準備や運営はスムーズだったと考えられます。

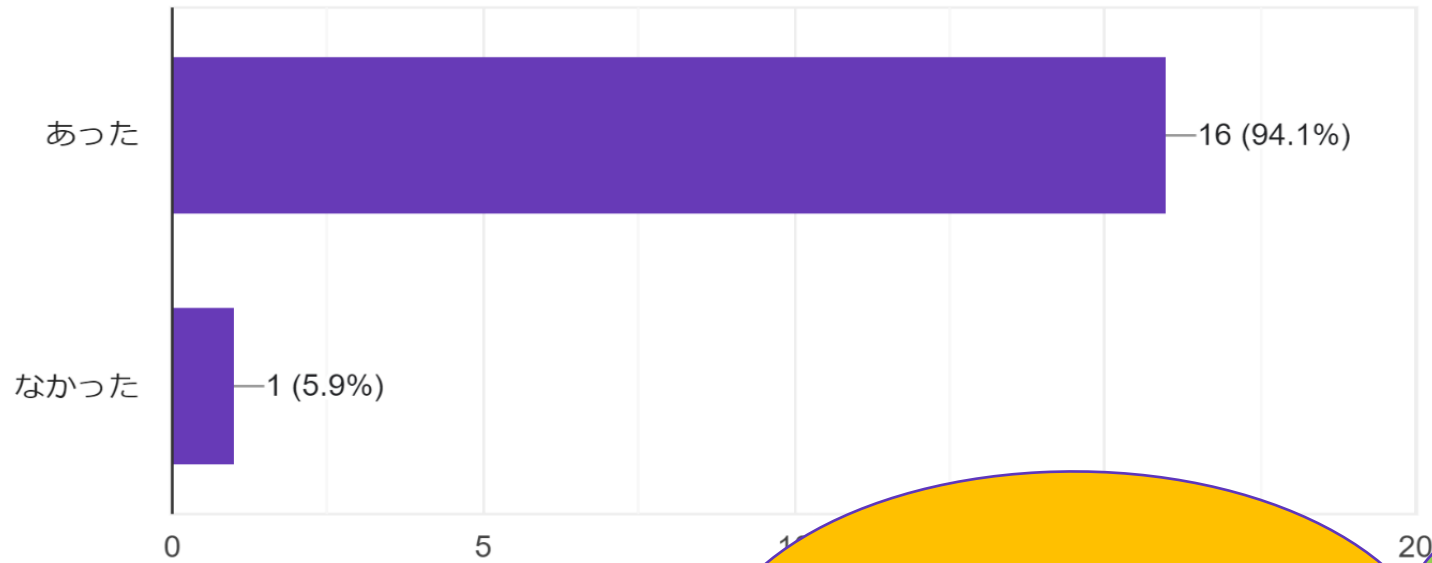
なお、蜂の巣らしきものがあり、蜂がいるかどうかは不明でした。

※後日イベント責任者がマンション管理会社へ連絡しました。

3. ボランティアアンケート7

6. 準備を含めてイベント全体でよかった点はありませんか？

17件の回答



レジュメ（おしごとブック）がしっかり準備されていて全体の流れがわかりやすかった



幅広い世代の人と関わることができた



3. ボランティアアンケート 8

イベント全体でよかった点のまとめ

回答例

- **最も多かった意見・・・準備・運営** (6件)
 - ・ レジュメ（おしごとブック）がしっかり準備されていて全体の流れがわかりやすかった
 - ・ 全体と全員のタイムスケジュールがあったので、全体の流れが把握しやすかった。
- **2番目に多かった意見・・・交流** (4件)
 - ・ 幅広い世代の人と関わることができた
- **3番目に多かった意見・・・体験** (3件)
 - ・ 防災に対して、普段は使わないような施設などの確認が出来て、運営スタッフ側としても勉強になるイベントだと思いました
- **そのほかの意見・・・安全** (2件)
 - ・ 暑い中ではあったものの、熱中症で倒れる人は誰も出なくてよかったと思いました。

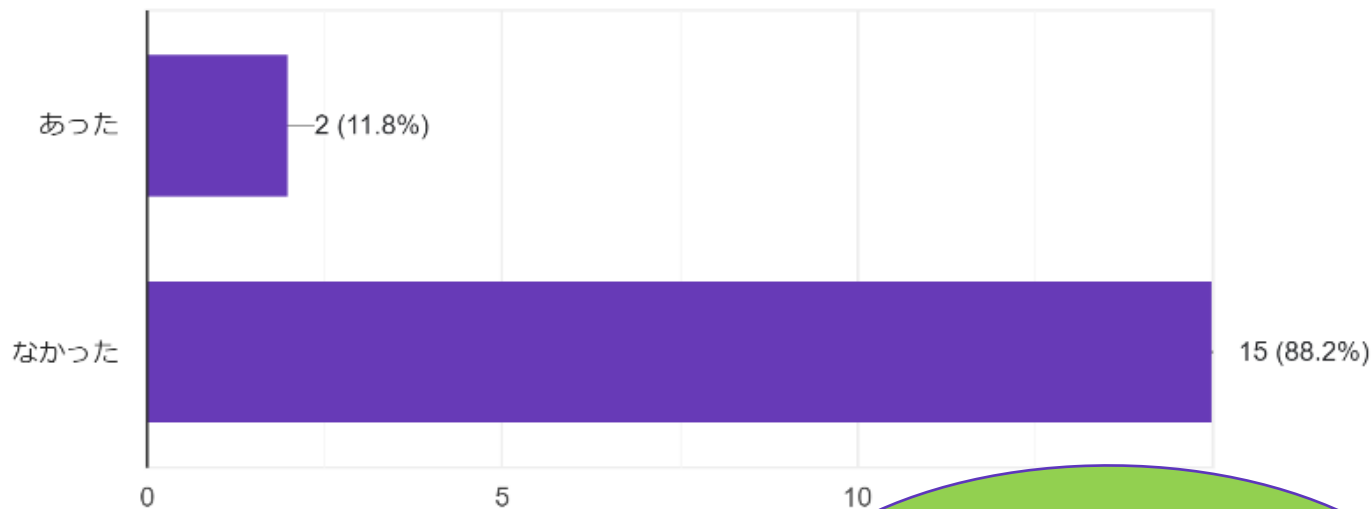
■考察

ボランティアは、準備・運営が明確で、参加者との交流が良かったとしていることから、このイベントの準備や運営がスムーズで、ボランティアが交流を楽しむ余裕があったことが考えられます。

3. ボランティアアンケート 9

8. 準備を含めてイベント全体で改善点はありましたか？

17件の回答



10月～5月の間の開催だと、熱中症対策も必要無く、参加者ももっと増えると思います。



待機しているときは暑かったです。35度を超えたら厳しいように思いました。



3. ボランティアアンケート10

イベント全体の改善点まとめ

- 実施時期に関する意見

「待機しているときは暑かったです。35度を超えたら厳しいように思いました。」

「素晴らしい体験内容だったのに、なぜこの一番暑い時期の一番暑い時間帯での開催だったのかそれだけが残念でした。」

■ 考察

全体の改善点だけでなく、開催日、開催時間、天候に関する改善意見は随所に寄せられました。次回開催への最も大きな改善点になりました。

3. ボランティアアンケート11

イベントの感想まとめ①

- 17件中15件の回答（複数回答あり）

1	地域防災体験イベントへの関心、評価	6人
2	「楽しかった」	5人
3	地域交流イベントとしての関心、評価	5人
4	次回参加希望、継続開催希望	3人

- 感想・多かった回答の例

- ・小さい頃から防災教育を受けることは、これから生きていく上でとても大切なことだと思うので、これからも続けて行ってほしいです！
- ・井戸のことなどは地域の方の視点による防災体験ならではの情報だったと思います。
- ・運営側としても楽しく子どもと触れ合いながらできたのでよかったです！
- ・少数の班体制だったからこそ分かりやすく体験が出来たのではないかと思う。
- ・普段はあまり話す機会のない、小学生や年配の方と接することができとても良かったです。

- 感想・提案の例 ※開催日時に関する意見2人

- ・今回は『学び・体験』が趣旨で、純粹に『楽しむ』イベントとは違うこともあるので、3連休ではない日程の方が参加者も多かったかもしれないと感じました。

ボランティアのイベントの感想まとめ考察

- ・ボランティアの皆さんは、防災体験、地域での多世代交流ともに楽しんで参加し、多くの方はそれらに活動の意味を見出していると考えられます。
- ・ボランティアに負担を感じたり、不満足だったとする回答はありませんでした。
- ・イベントは、ボランティアの役割分担が明確かつ役割量が適量で、ボランティア同士、また参加者にも親和性が高かったと考えられます。
- ・さらに前向きに開催日時の変更を提案する声から、ボランティアは、運営者との信頼関係もあったと考えられます。

3. アンケートまとめ

3. アンケートまとめ

■アンケートの内容について

参加者の13人（7世帯）のうち6人、ボランティア24人（23世帯）のうち17人が回答し、すべての回答者がコメント記入欄も記入しています。イベントを良くしたいという積極的な姿勢が見受けられます。

また、参加者、ボランティアともに回答の内容も総じて肯定的で、双方とも楽しみながら交流と防災体験に学びがあったとしています。これは、参加者、ボランティアともにサービスや役割分担が適当で、無理のないイベントだったと考えられます。参加費は、妥当または安いという意見がありました。アンケート回答者に限定すると参加者の全員、ボランティアにも次回参加を求める声がありました。

従って、今回のイベントは、公衆電話の機能の確認、開催時期と時間を考慮すれば、参加者、運営ボランティアともに継続開催を求められているイベントで、その点からは継続開催が可能であると考えられます。

■アンケートの方法について

- ・当初回答者に大学生ボランティアを想定しており、回答者の所属（大学生・保護者・有志ボランティアなど）の回答欄の作成がなかったことが反省点です。
- ・防災ポーチのブースは、中学生2人とイベント主催者が実施しました。アンケートの回答を依頼し忘れていたことが反省点です。

■回答した下さった方に厚くお礼を申し上げます。